

通 告 順 序 第 8 号

1 2 番 根本 謙一 議員

一 般 質 問 再 質 問 答 弁 書

一般質問再質問答弁書

作 成 課	政策財政課	1 2 番	根本 謙一 議員
質問事項	町長の町政運営について		
内 容	答弁書において「令和 4 年度施政方針及び第三次総合計画実施計画の中で、私のマニフェストとして示した。」と述べているが、これらはあくまで「方針と計画」であって、所謂公約と言っている「人口減少対策、鳥獣被害防止対策そして教育環境の整備・充実等」についての目的、実施方法、目途、財源はあっても数値目標等を掲げてなく、肝心な事後評価検証可能性に欠けていると言えまいか。つまり、「マニフェスト」とは、個々の政策・施策について事後検証可能な形で策定し、専門知識を持たない一般有権者にも解り易い表現で明文化して提示することでないか。「マニフェストとは」の認識を改めて伺いたい。		
答 弁 要 旨	はじめに、「町長の町政運営について」であります、 「マニフェストとは の認識」につきましては、 公約・マニフェストとは 町民への政策的 約束事と考えております。 私が選挙時に掲げた公約は、人口減少対策、教育環境の充実、医療・福祉の充実、空き家・鳥獣被害対策であります。 それぞれの施策については、一つの課題に対して 多方面からの取組みや 施策展開を行うことによって、 成果となって表れ 実現できるものと考えております。 町民への説明については、		

	公約として掲げた目的達成に向けた 令和４年度の本町の取組みとして、 施政方針・所信としてお示したところであります。
--	--

一般質問再質問答弁書

作成課	教育文化課	12番	根本 謙一 議員
質問事項	「次代を担う人材育成プロジェクト」について		
内容	一点目、「学校経営アドバイザー」の必要性について、答弁書では一定の理解はできるが、十分な理解とはなりません。再度伺います。他自治体においても任用事例が多いのか。本町においては「人材育成プロジェクト」に取り組むことを課題として必要としているのか。「指導主事」との棲み分けも分り難い。そもそも考えると、このプロジェクトの提案者、卓越した校長経験者であると聞き及ぶ教育長本人の役目としてあるのではないかと考える。その方がストレートにビジョンの理解と信頼性が進み、校長が替ってもしっかりと伝えやすいのではと考えるが如何か。 二点目、「地域学校協働活動とコミュニティースクールの関わり」は意義と課題を踏まえた一体的推進が必要との趣旨で理解します。ここでの私の質問は、確認はしていないが、平成 29、30 年頃にコミュニティースクール取り組み担当を任用している由を訊いた記憶があるので、本町での今までの取り組みについて伺ったのである。 三点目、②においては、「次代を担う人材育成プロジェクト」全体への理解は大切だと思うが、「幼小中一貫教育」取り分け「義務教育学校」を本郷地域において開校するとしていることについての理由、課題、目的、意義、時期、などを解り易く説明する必要が急務と考える事からどのように整理し、特に現場である本郷地域住民に対して説明をしていくのか段取りを伺ったのである。再度の答弁を求める。		
答弁要旨	次の、「次代を担う人材育成プロジェクト」について であります 1 点目の「学校経営アドバイザー」につきましては、 全国的には西日本を中心に配置・活用している 自治体が多い状況であり、		

本県では件数は多くありませんが、

郡山市や柳津町などで配置しております。

また、人材育成プロジェクトに関しては、

教育長よりその理念や方向性について

十分に浸透を図ってまいりますが、

実践上の課題解決を含め、

プロジェクトの具体的取組について

きめ細かな指導助言にあたるうえで

学校経営アドバイザーは必要不可欠なものであると

考えております。

2点目の「地域学校協働活動とコミュニティ・スクール

の関わり」につきましては、

議員にご理解いただいたとおり、

一体的推進に努めてまいります。

3点目の「本郷地域住民に対しての説明」につきましては、

中学生以下の子どもの保護者を対象とした

3地域での説明会を、3月12日に予定しておりましたが

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により

延期となりましたので、

	新年度当初の保護者会等に併せて実施したいと 考えております。
--	---

また、広く住民を対象とした説明会につきましては、
保護者への説明が終了したのち、
新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、
早期に開催したいと考えております。

一般質問再質問答弁書

作 成 課	産業振興課	1 2 番	根本 謙一 議員
質問事項	公園等の公衆トイレ管理について		
内 容	一点目、全町的管理状況についての問題、課題認識についての答弁を戴いていません。本当に、実状把握充分の上で「個別施設計画」に反映されていると解して良いか伺う。 二点目、向羽黒山城跡とりわけ二の丸駐車場前トイレについて、前向きな答弁と受け止めます。そこで強いて伺いますが、検討するだけでなく目途を明示してください。		
答 弁 要 旨	次の、「公園等の公衆トイレ管理について」であります、 1 点目の「全町的管理状況についての問題、課題認識」につきましては、 住民の利用から見ても、観光の側面から考慮しても、 トイレの管理、美化は重要な問題だと認識しております。 個別施設計画については、躯体や設備等の老朽化の度合いや利用状況を基に実情を充分把握し策定しておりますが、 経年によるその後の劣化及び 利用者の増加による不具合の発生も考えられることから、 随時、各施設の状態を確認しながら 適正管理に努めているところであります。		

	2点目の「二の丸駐車場前トイレの改修に係る目途」 につきましては、 個別施設計画において令和6年度を予定しておりますが、 施設の利用状況や状態などを再確認のうえ、 必要であれば、前倒して施工できるように調整してまいります。
--	--

一般質問再質問答弁書

作成課	総務課	12番	根本 謙一 議員
質問事項	旧本郷第一小学校跡地利活用具体化について		
内 容	一点目、答弁で「基本計画を作成するための予算を計上している」とのことは、令和4年度中にまとめあげると解せるが、実に広い跡地であり「三つの理念」を生かすことを考えると、実施計画は複数年次計画となるのか、目途も合わせて所見を伺う。 二点目、「提案型の業者選定」とは、具体的に解り易い説明を求める。 三点目、住民は実のあるワークショップ開催を期待している。「専門家のアドバイスを参考にしながらワークショップ等」とは、まず具体的に解り易い説明を求める。専門家とは、地域づくりか、都市デザインか、造園か、樹木医か、はたまたワークショップのファシリテーターを指しておるのか分り難い。 四点目、「子どもが自由に遊べる場所」についての進め方は基本的に評価します。素晴らしい他事例も参考にしながら、全体構想づくりに向けては十分なワークショップ開催によって町民・地域住民と共に創り上げていかれるよう取り組むべきと思います。所見を伺う。余談になりますが、本町との姉妹都市である檜葉町では、先月、「みんなの交流館 ならはCANvas」が「第37回福島県建築文化賞復興賞」を受賞されました。お祝いを申し上げます。この施設を造るにあたって、松本町長は「設計段階から9回にわたるワークショップを行い、様々な年齢・立場・視点から語られた想いを取り入れ具現化したことで、みんなに愛され育てられていく施設として整備することができました。世界でたったひとつの手作り施設」と言っています。私は大事な示唆を感じる取れる「在り方」だとして紹介します。		

答 弁 要 旨	次の、「旧本郷第一小学校跡地利活用具体化について」 であります、 1点目の「実施計画は複数年次計画となるのか」 につきましては、 令和4年度中に基本計画の作成後、 可能な限り早期に整備したいと考えておりますが、 整備の期間については、 現段階では明確に決定しておりません。 2点目の「提案型の業者選定」につきましては、 基本計画を作成する業務を委託するうえで 公募により受託希望者に企画を提案していただき、 その中から、優れた提案を行った事業者を選定する、 「プロポーザル方式」を想定しております。 3点目の 「専門家のアドバイスを参考にしながらのワークショップ等」 につきましては、 「専門家」としては、プロポーザル方式により選定された 地域づくりや全国の都市空間内の空き地利活用等に 精通した事業者等を想定しています。
----------------------------	--

検討会の総括や子どもワークショップの
ファシリテーター等の役割を担っていただきながら、
議論の活性化を図り、検討を進めてまいりたい
と考えております。

4点目の

「地域住民の意見を取り入れながらの構想づくり」
につきましては、
跡地の利活用については、
実際に利用する方々の協力が
必要不可欠なものであると考えております。

多くの方々に利用していただける場所となるよう
ワークショップ等による意見を取り入れながら
町民や地域住民とともに、検討を進めてまいります。

